

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	※説明内容は別紙資料のとおり。以下、質疑応答の部分を記載。 〈テーマ１：林業の振興〉 ・ペレットストーブは今後も普及していくのか。 →継続しており、今年度では５台ほど、一般住宅向けで購入されている。 ・灯油など、経済的にはどうなのか。 →灯油が１３０円を超えると、ペレットの方がお得というラインになっている。 ・ペレットの粒は、美幌では作っていないのか。 →そうですね。以前は作っていたが、含水率の調査などいろいろあり、撤退しているのが現状です。 ・FSC認証はまだ増える予定はあるのか。今の状況を維持するのか。 →基本的には現状を維持していきたいと考えている。今、町で２,８００ヘクタールほどとなっている。 ・第６期計画では、認証林の拡大で、非認証材との価格差の付与による認証材の拡大を図ると記載があったが、今回の説明では拡大の保持に変更している。価格差はついたということか。 →価格差は具体的につけない状況です。実際にはなっていないのが現状で、ブランド化ということで、FSCをつけることで企業から寄付をいただいているのですが、その認証を受けているということで、寄付を多くいただいているという現状です。 ・きてらすについては、どんどん整備してもいいかと思う。やはり利用率が高いのでせっかく子どもたちが遊ぶところなのでよくしていけばいいと思う。 →遊具の方針についても、新年度に向けて予算審議をいただくこととしていますので、それも含めてやっていきたい。 〈テーマ２：治山〉 ・要望というか、改良区の立場からではあるが、今、西環線の方って、美和・昭野・美禽の山の水が全て改良区の水路で受けている。その水を木禽川や小谷沢川に放水しているが、川に土砂が溜まると抜けない。その水を川に放水できないことから、ここ何年かは大雨がきていないので溢れるという災害はないが、受けた水を放水するところが埋まってしまっているということがあり、何年か前にも役場をお願いした経過がある。どこか受けた水を網走川に流すようなところの浚渫をある程度しておかないと、どこかであふれるところが出てくると思う。ここが危険箇所というか、水が抜ける場所というのあわせて調査してもらって、改良区の水路でいくと、木禽川と小谷沢川しかないが、そこで抜け

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	ないと女満別まで送って溢れさすという話になってしまうので、できればその辺も含めて検討していただきたい。 →排水路だと、町でも対応できるかと思いますが、川になってくると建設部との協議が必要となる。 ・川だと土研だったり、開発だったりにもなるので、なかなか掘ってもらうことは難しいと思うが、ある程度形ができれば、何年かに1回は掘ってもらうだとか、もうちょっとやってもらえればと思うところもある。畑を水没させるということもあるので、ちょっと検討願いたい。 〈テーマ3：移住、定住の推進〉 ・KITENについて、内装（椅子）がおしゃれだが、長時間滞在するには使い心地があまりよくなかったとの話を聞いた。また、空間が広すぎて、機密性の高い会話がしづらいとの話もあった。 →今後の運営、レイアウトの改善の際に参考にさせていただく。 ・20～30代、50～60代など年代別の既住民と移住希望者が居酒屋等で気軽に話せるような交流会・サークル参加機会があると、移住検討者の心理的ハードルが下がるのではないかと。 ・町内の外国人労働者が今後も増加すると見込まれる中で、町としてそれをどの程度受け入れるか、また町民の理解（好意的か否か）をどう醸成するか、計画上の位置づけが必要ではないかと。 ・既に多文化共生イベントには外国人住民の参加が多く見られ、今後は社会教育分野に限らず、雇用・生活・コミュニティ全体を横断した対応が必要との認識が共有され、雇用面は経済部会、生活面は町民生活部会など総合計画全体で扱うテーマとすることを確認。